

建築工事特記仕様書

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準」という。）による。

2. 標仕のうちの必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。

3. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（ ）は「各部記附参考図」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

(6) □印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は、「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表1（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。

4. 前金払

契約金額100万円以上の工事においては、契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の4を超えない範囲内に限り前金払の支払を請求することができる。

5. 中間前金払又は部分払かの選択

契約金額100万円以上の工事においては、契約に当たり中間前金払又は部分払を選択することができる。

6. 中間前金払

契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前金払の支払を請求することができる。

7. 中間前金払の要件

(1) 工期の2分の1を経過していること。

(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。

(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

8. 部分払

工期中2回までとする。

9. 火災保険

契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後14日とする。

10. 県産資材の優先使用

(1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下、「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

(2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

《指定主要資材（7品目）【生コン（レディミクストコンクリート）コンクリート二次製品 石材類 アスファルト材 木材 樹木 芝】》

(3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。

(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

11. 下請工における管内（県内）建設業者の優先活用

(1) 工事の一部を下請に付する場合は（ いちき串木野市 ）管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。

(2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合、施工計画書の提出と併せて「下請工における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。

(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

12. 配置技術者等の途中交代

(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護または退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。

① 受注者の責務によらない理由により工事中又は工事前の内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合

② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

③ 一つの契約工期が多年に及ぶ場合

(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

13. 電子納品

(1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子納品とは、「鹿児島県電子納品ガイドライン（令和7年3月）」（以下、「ガイドライン」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

(2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-R）で正本1部、副本2部の計3部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱いとする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

(3) 電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。

14. C A D 図面データの貸与について

本工事に關するC A D 図面データの貸与を希望する場合は「C A D 図面データ借用に係る誓約書」を県に提出すること。なお貸与したC A D 図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該C A D 図面データは、完成図提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全てを消去すること。その他、誓約書の記載事項を遵守すること。

15. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置

鹿児島県が発注する建設工事等（以下、「県工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速滞なく県（発注者）及び警察に通報すること。県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、県（発注者）と協議を行うこと。

16. ダンプトラック等による通積載等の防止について

(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。

(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

(3) 資材等の通積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。

(4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。

(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。

(7) (1)から(6)のこにつき、下請契約における受注者を指導すること。

17. 施工体制台帳の作成等について

本工事の受注者は建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

18. 施工体系図の作成等について

本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

ア 依據及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

イ 土砂やコンクリート設等の運搬のみを行う業務

ウ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務

エ その他監督職員が記載を指示した業務等

章 項 目

特 記 事 項

① 各章共通事項

① 適用基準等

※ 適用を受ける関係法令等を遵守すること（参考）

・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築監修版）（令和4年版）

・構内舗装・排水設計基準及び参考資料（平成31年版）

・建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部）

・建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）（官庁営繕部）

・建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国交省通知122号等）

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律

・資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）

・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）

・公共建築木造工事標準仕様書（令和4年版）

② 工事実績情報の登録

※適用する 対象工事 〔1.1.4〕

※工事請負金額500万円以上（ ）

③ 品質計画

・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算〔1.2.2〕

※基準風速（V₀）（ 3 8 ）m/s

※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ

・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する

・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する

適用工程 ・A L Cパネル（外壁、屋根）・押出成形セメント板（外壁）・外壁干張（乾式）・外壁材（外断熱工法）・長尺金属板葺・折板葺・アルミ笠木・ガラスブロック・シート防水（機械式）

・屋上緑化システム・（ ）

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。〔1.3.3〕

○要 ・不要

⑤ 施工条件

標仕1.3.5以外の施工条件 ・図示 ・現場説明書〔1.3.5〕

⑥ 発生材の処理

・発注者に引渡しを要するもの（ ・金属類 ・P C B 含有物 ・ ）〔1.3.11〕

引渡し場所 ※構内・（ ）

・特別管理産業廃棄物の処理方法（ ）

再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ・有 ・無

分 類	受入れ施設名	所 在 地	搬出距離（km）
・コンクリート塊			
・アスファルト			
・コンクリート塊			
・建設発生木材			
・			
・			

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施に当たっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては、監督職員と協議する。

※建設産業物処理計画書の作成

※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成

⑦ 環境への配慮

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する 〔1.4.1〕とともに、次の1）から4）を満たすものとする。

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する

2）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する

3）接着剤は可塑剤（フタル酸ジエー ー プチル及びフタル酸ジエー ー エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する

4）1）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする

規制対象外

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第三種品

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料

②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

建材

本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする

⑧ 材料の品質等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、 〔1.4.2〕J I S 及び J A S マークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること

(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること

なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。

※工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの（含有率0.1%以下）とする。

⑨ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による

⑩ 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、 スチレン（学校施設については、パラクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。なお、結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。

着工前の測定 ・行う

測定対象室と箇所数 ・図示 ・（ ） ・（ ） 箇所（ ）

① 各章共通事項 項 続 き

⑪ 一級技能士

下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をする 〔1.5.2〕とともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う

適用工事種別 技能検定の職種

鉄筋工事	○鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	○型枠施工 ○コンクリート圧送作業
鉄骨工事	
ブロック・A L Cパネル工事	・ブロック建築 ・A L Cパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	○建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金（内外装板金作業）
金属工事	○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ○ガラス施工 ○自動ドア施工 ○木製建具手加工作業
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装（建築塗装作業）
内装工事	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）
積載工事	・造園
景工事	・景製作

⑫ 完成図等

完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・（ ））〔1.7.2〕

完成図の様式 A 3 縮小二折折り製本 ※3 部 ・（ ）部 〔表1.7.1〕

A 1 二つ折り製本 ※1 部 ・（ ）部

完成図のC A D 図面データ C D - R ※3 枚 ・（ ）枚

・作成しない

保全に関する資料 ○作成する（提出部数 ※1 部 ・（ ）部）〔1.7.3〕

※作成しない

⑬ 完成写真等

撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする

区 分	分 類	規 格	部 数	備 考
着工前	※デジタ撮影	全量：キタビサイズ	※1 部	・
工事中	※デジタ撮影	カラーサービスサイズ	※1 部	・
	（検査状況）			
完成時	※デジタ撮影	全量：キタビネサイズ	※1 部	外観4面/棟 内部全状況
	（出来形時）	部分：サービスサイズ		
裏面調査用	※デジタ撮影	カラーサービスサイズ	※2 部	外観4面/棟 ・
電子データ	・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真			・

100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式で最高画質とし、CD-R 面に提出する

撮影業者 ※監督職員の承認する撮影者 ・監督職員の承認する撮影業者

⑭ 設備工事との取り合い

設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承認を受ける 〔1.1.7〕

⑮ 設計 G L

※図示による ○現地地盤の平均高さとし、監督職員と協議する

⑯ 既存部分等への措置

工事施工に際し、既存部分汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する

⑰ 騒音振動の防止

低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する

適用工事（土、地業、コンクリート、舗装、植栽、とりこわし等）

18 部分使用

この工事については、部分使用は ・有（図示 ） ・無

19 一部完成

この工事については、一部完成は ・有（図示 ） ・無

20 中間検査

この工事については、中間検査を ・行う ・行わない

行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（基礎地中梁、中間梁及び最上階配筋完了時、鉄骨竣工完了時）及び内装工事等施工中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。

21 白蟻防除工事

この工事については、（公社）日本しろあ対策協会（以下、「協会」という。）発行「防除施工標準仕様書」（以下、「防除」という。）による

この項目に記載の「防 」内表示番号は、防除の当該項目を示す

※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする

※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする

※土壌処理

処理の適用区分 ※行う ・行わない 〔防1.2〕

処理の方法 ※等状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う 〔防1.3.（1）〕

・木材処理

処理の適用区分 ※行う ・行わない 〔防1.2〕

処理の方法 ※収付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う 〔防1.3.（2）〕

※処理の箇所

・木造の場合

※1.4.（2）①～⑥及び⑧に規定する箇所

・隣接、合掌、小屋梁、間仕切り、桁、火打梁などと敷軒又は軒桁との仕口面

・2階梁、火打梁と間差との仕口面

・木造以外の場合

※1.4.（2）⑦に規定する箇所

・2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面

※保証書及び期間

白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を出すこと。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする。

（7）工事名称 （4）建物の所在地 （6）建物の構造・用途・面積 （4）白蟻防除工事の施工面積

（4）防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 （4）登録施工業者委員会名簿

（4）施工した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 （7）保証期間

※工事施工にあたり、協会発行「しろあ防除施工における安全管理基準」を遵守すること

22 鹿児島県トライアル

発注制度の製品等

製品名 （ ）

施工箇所 ※図示による ・（ ）

② 仮設工事

① 監督職員事務所

○設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない 〔2.3.1〕

面積規模 ○10㎡ ・20㎡ ・35㎡ ・65㎡ ・100㎡ ・（ ）㎡ 程度

仕上げの程度、設置する設備、備品の種類及び数量は現場説明書による

監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切り等で仕切る

監督職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装溶融面鉤めつき銅板張り、又は、鉄板張り、銅合ペイント塗り

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償） 〔2.3.1〕

② 工事用水

③ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償） 〔2.3.1〕

④ 現場表示板

規格 ※図面による ・監督職員の承諾による

材質 ※炭素杉板 ・監督職員の承諾による

市シンボルマーク 150×150程度

900

1800

工 事 名

発 注 者

設 計 者

監 理 者

施 工 者

工 期 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日

工事

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に對し安全な工法とする

③ 土工

① 埋戻し及び盛土

材料及び工法 種別 〔3.2.3〕〔表3.2.1〕

・A種 ※B種 ・C種 ・D種

C種の場合（発生場所 ）

（連絡先 ）

（運 搬 ・発生原因側等 ・本工事 km）

② 建設発生土の処理

※構外指示の場所 受入施設名 所在地 〔3.2.5〕

受入れ場所 （ ）（ ）

受入れ場所での処理 （ ・数均し ※たい積 ）

搬出距離（ ）km

処分費 ・有償 ※無償

上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する

・構内指示の場所 （ ）

・処理の方法 （ ・数均し ・たい積 ）

資源利用法に基づく届け出

④ 地業工事

① 地盤調査の結果

調査位置、柱状図、地層構成、地下水位

※資料提供

・図示による（ ）

② 支持地盤

・杭基礎 〔3.2.1〕〔4.2.4〕〔4.3.4.5〕〔4.4.4〕〔4.5.5.6〕

支持地盤の種類及び位置（基礎ぐいの先端の位置含む）

・図示による（ ）

○直接基礎

支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む）

・図示による（ ）

長期設計支持力強度

・（ ）kN/㎡

・

試験掘（掘切り底）による支持地盤の確認 〔3.2.1〕

・行う 位置等は図示による（ ）

・行わない

地盤の載荷試験 〔4.2.4〕

・行う 試験の位置、方法等は図示による（ ）

・行わない

③ 既製コンクリート杭地業

種類 種類 〔4.2.2〕〔4.3.1〕〔4.3.3～6〕〔4.3.8〕

・連心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）

・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）

SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）

試験掘

・行う 孔径はオーガ一径とする 位置及び長さ等は図示による（ ）

試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う

・行わない

寸法、継手、性能等（種別・種類、性能及び曲げ強度区分） 〔4.2.2〕〔4.3.3〕

種類	コンクリート強度（N/mm ² ）	杭径（mm）	杭長（m）	継手数	長期設計支持力（kN/本）
試験杭	上杭				
	中杭				
	下杭				
本杭	上杭				
	中杭				
	下杭				

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う

試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による（ ）

設計年月日 令和 7 年 4 月 1 日

工事名称 消防本部消毒室新築工事

図面名称 建築工事特記仕様書（その1）

図面番号

2 / 22

設計者

佐藤設計椿山事務所

鹿児島県知事登録 第 1-5-6 号

1級建築士登録 第 177419 号 C D 椿山 政彦

鹿児島県 いちき串木野市役所

都市建設課 建築係 主任 梶 好輝

TEL 0996-21-5154 FAX 0996-21-5192

7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国建築工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標仕7.1.1以外)の適用範囲に限る。)	7 鉄骨工事 続き	10 床構造用 デッキプレート	材質、形状及び寸法 [6.8.2] [7.2.7] ・デッキプレート単独の構法 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 床型枠用を使用する場合において、受注者は施工に先立ち施工の安全性を確認すること。 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による() 鉄骨部材への溶接方法 ・図示による() 耐火認定 ・有り 耐火時間 ・図示による() ・無し	7 鉄骨工事 続き	21 錆止め塗装 塗料の種類 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る) ※標仕 表18.3.1 A種 ・塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ・図示による() 塗料の種類 ・標仕 表18.3.1 ()種 ・標仕 表18.3.2 ()種	8 コンクリートブロック・ACレパネル・押出成形セメント板工事(続き)	3 ALCパネル	パネルの区分 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 幅(mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別 ・外壁用 ・間仕切壁用 ・屋根用 ・床用 パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・ パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※10～20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない	4 押出成形セメント板(ECP)	外壁、屋根パネルの構法 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 [8.5.2～5] パネルの種類 形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 耐火性能 ・外壁パネル ・F・F-R ・D・D-R ・T・T-R ・50 ・60 ・100 ・450 ・600 ・A種 ・B種 ・30分 ・1時間 ・2時間 ・間仕切壁パネル ・F・F-R ・D・D-R ・T・T-R ・50 ・60 ・100 ・450 ・600 ・B種 ・C種 ・30分 ・1時間 ・2時間 注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 パネル相互の目地幅(mm) ※長辺()、短辺() 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した施工計画書を提出する。	9 防水工事	1 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部の保護方法 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3 ・B-1-1 ・B-1-2 ・B-1-3 ※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度 ・れんが押さえ (JIS R 1250) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 厚さ ※標仕 表9.2.3及び標仕 表9.2.4による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 厚さ ※標仕 表9.2.5及び標仕 表9.2.6による 立上り部への断熱材及び絶縁シート ・設置しない ・設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 商業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
	2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者	・配置する ・配置しない [7.1.4]	材料等 [7.2.1] [表7.2.1] 種類の記号 適用場所 規格 ※図示による() ※JISによる ・大臣認定による ・ ※図示による() ※JISによる ・大臣認定による ・ ※図示による() ※JISによる ・大臣認定による ・ 有効細長比(圧縮材に限る) ※図示による 高力ボルト 高力ボルトの区分 [7.2.2] [7.3.2] [7.4.1～9] ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種(F10T) 高圧ボルトの径 ・図示による() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 摩擦面の処理方法 ・標仕 7.4.2(1)による すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 ・図示による() 5 普通ボルト ボルト及びナットの種類 [7.2.3] [7.3.2] [7.3.8] ※標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)による ・標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)又は、JIS本体規格品 (ISO規格)による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット・Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。) 座金 ※標仕 7.2.3(4)による ボルトの径 ・図示による() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 6 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 [7.2.2] [7.12.4、5] ※1種(F81相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による() 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・大臣認定を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 摩擦面の処理 [7.12.5] ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又は、リン酸塩処理 リン酸処理とした場合は、すべり係数の確認を行う。 ※すべり係数試験 試験方法等 ・「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による 7 アンカーボルト 適用 [7.2.4] [表7.2.3] ・構造用アンカーボルト ・ABR400 セットの種類(JIS B 1220) ・ABR490 セットの種類(JIS B 1220) ・SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.3による 形状、寸法 ・図示による() ・建方用アンカーボルト 材質 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.3による 形状、寸法 ・図示による() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() 8 溶接材料 溶接材料 [7.2.5] ※標仕 7.2.5(1)(2)による ・標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による() 9 ターンバックル 種類 [7.2.6] 建築用ターンバックル胴 ※割断式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ・図示による()	11 スタッ 材質、形状及び寸法 ※願付きスタッド JIS B 1198 呼び名等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 12 柱底均しモルタル モルタルの種類 [7.2.9] ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標仕 表7.2.9(2)(7)から(4)による ・標仕 表7.2.9(1)によるモルタル 13 工作図 監督職員による現況検査 [7.3.2] ・行わない ・行う 増築工費等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。 14 製作精度 鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による [7.3.3] 通しダイヤフラムの突合わせ継手の食い違い寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」 15 鉄骨の仮組 ・行わない ・行う 仮組を行う範囲 ・図示による() 16 溶接技能者の技量 付加試験 試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ・図示による() 17 溶接接合 開先の形状 [7.6.4] ・図示による() スカラップの形状 [7.6.7] ・図示による() エンドタブの切断する部分 [7.6.7] ・全て ・見え掛り部となる部分 ・切断する部分なし 切断する範囲 ・エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は、5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 18 現場溶接の有無 切断面の仕上げ [7.6.7] ・標仕7.6.7(1)(a)(b)②による 溶接部の余盛り高さ ※JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による [7.6.7] 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ・図示による() 19 入熱、パス間温度の 溶接条件 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 [7.6.7] [7.6.10] ・図示による() 適用箇所 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・図示による() 20 溶接部の試験 完全溶込み部の超音波深傷試験 [7.6.12] [表7.6.2] [表7.6.3] ・行わない ※行う ・工事溶接の場合 ・全数検査 ・抜取検査 AOQL(%) ・4.0 ・2.5 節 ・全て ・ 検査水準 ・第6水準 ・ ・ ・工事現場溶接の場合 ・全数検査 ・計数連続生産型抜取検査 AOQL(%) ・4.0 ・2.5 突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による ・抜き取り検査 ① ※抜き取り検査 ② JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。	8 コンクリートブロック・ACレパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリート ブロック造 ブロックの種類等 [8.2.2、3、5、8] 断面形状及び圧縮強さによる区分 ※空洞ブロックC(16) ・120 ※400 ※200 ※無 ・有 ・150 ・ ・ ※無 ・有 モルタルの調合(容積比) ・セメント() : 砂() 各部の配筋 ※図示 モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※図示 2 コンクリートブロック 帳壁及び壁 ブロックの種類等 [8.2.2、3、4] 断面形状及び圧縮強さによる区分 ・120 ※400 ※200 ※無 ・有 ・150 ・ ※無 ・有 ・ ・ ※無 ・有 帳の厚さ ・ 帳の高さが2m以下 ・120 ・ 帳の高さが2mを超え ・150 ・ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示 各部の配筋 ※図示 化粧目地の有無 ・無 ・有 工法 コンクリートブロック積帳壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造重壁とする	21 錆止め塗装 塗料の種類 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る) ※標仕 表18.3.1 A種 ・塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ・図示による() 塗料の種類 ・標仕 表18.3.1 ()種 ・標仕 表18.3.2 ()種	22 耐火被覆 種別 [7.9.2～8] 種別 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・ ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ ・ラス張り ・モルタル塗り ・ ・ ・耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 23 建方精度 ※(一社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度基準」付表5「工事現場」による [7.10.2] 24 アンカーボルト等の 設置 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7.10.3] [表7.10.1] 種別 ・A種 ・B種 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 種別 ・図示による() 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 [7.10.3] [表7.10.2] ※標仕 表7.10.2 ※A種 モルタル厚さ() ・B種 モルタル厚さ() 25 軽量形鋼構造 接合部(ボルト接合の場合) [7.11.2] ・普通ボルト接合 もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。 26 溶融亜鉛めっき (構造耐力上主要な部分) 種別等 [7.12.4] [表14.2.2] 塗部めっきの種別 材料 適用部位 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 ※地ごしらえはJIS H 8841による 適用箇所 ※図示による() 27 梁貫通孔の補強 補強方法 ・補強プレート法 ・補強トラス法 適用箇所 ※図示による()	9 防水工事	1 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部の保護方法 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3 ・B-1-1 ・B-1-2 ・B-1-3 ※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度 ・れんが押さえ (JIS R 1250) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 厚さ ※標仕 表9.2.3及び標仕 表9.2.4による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 厚さ ※標仕 表9.2.5及び標仕 表9.2.6による 立上り部への断熱材及び絶縁シート ・設置しない ・設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 商業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による				

鹿児島県建築工事特記仕様書

設計者

佐藤設計椿山事務所
鹿児島県知事登録 第 1-5-6 号
1級建築士登録 第 177419 号 C D 椿山 政彦

鹿児島県 いちき串木野市役所
都市建設課 建築係 主任 柊 好輝
TEL 0996-21-5154 FAX 0996-21-5192

設計年月日
令和 7 年 4 月 1 日
工事名称
消防本部消毒室新築工事
図面名称
建築工事特記仕様書(その3)

図面番号
4 / 22

⑨

防水工事
(続き)

1 アスファルト防水
(続き)

2 改質アスファルト
シート防水

屋根露出防水
防水層の種類

種 別	施工箇所	断熱材 ㊦	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・D－1		横仕 9.2.2(9) (種類)	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	
・D－2					
・D－3					
・D－4					
・D1－1		(厚さ) ※25mm ・50mm			
・D1－2					

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

防水層の種類

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・E－1		・E－2	

保護層 ・設ける(※図示 ・) ・設けない

防水層下地の立上り
※コンクリート打渡し仕上げ 横仕 表6.2.4[打渡し仕上げ種類]のB種 ・
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L＝30×15×2.0mm程度 ・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示 ・)
・適用しない

屋根排水溝 ※図示 ・

施工機識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に機識を取り付ける

防水層の種類 [9.3.2、3] [表9.3.1～3]

種 別	施工箇所	断熱材 ㊦	防湿用シート	仕上塗料		備考
				種類	使用量	
・AS－T1		横仕 9.3.2(3)(4)	・設ける (改質アス ファルトシート の製造所の 仕様	・改質アス ファルトシート の製造所の 仕様		
・AS－T2						
・AS－T3						
・AS－T4						
・AS－U1		(厚さ) ※25mm ・50mm	(改質アス ファルトシート の製造所の 仕様による) ・設けない			
・AS1－T1						
・AS1－J1						

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※横仕 表9.3.1から表9.3.3による
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※横仕 表9.3.2から表9.3.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上
※横仕 表9.3.2から表9.3.3による

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L＝30×15×2.0mm程度 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

施工機識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に機識を取り付けずルファイド系 (PS-2)

[9.4.2～4] [表9.4.1～3]

種 別	施工箇所	可塑剤移行防水 シートの材質	断熱材 ㊦	仕上塗料		備 考
				種 類	使用量	
・S－F1		※発泡ポリエ チレンシート	横仕 9.4.2(3) (x) (b)	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	※ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S－F2						
・S－M1						
・S－M2						
・S1－F1		※発泡ポリエ チレンシート	(厚さ) ※25mm	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1－F2						
・S1－M1		横仕 9.4.2(3) (x) (a)による (種類) (厚さ)	横仕 9.4.2(3) (x) (a)による (種類) (厚さ)	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1－M2						

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

3 合成高分子系
ルーフィングシート防水

S1－F1、S1－F2、S－M1及びS－M2の仕様
・非歩行仕様 ・軽歩行仕様
S1－M1及びS1－M2における防湿フィルム
・設置する ・設置しない
S－M2又はS1－M2の立上り部の工法
・接着工法 立上り面のシート厚さ ・ ※1.5mm
・機械的固定方法

屋内防水

種 別	施工箇所	保 護 層		立上り部の保護 モルタル塗厚
		平場のモルタル塗り	遮 厚	
・S－C1				※7mm以下 ・

屋内保護密着工法
平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地割 ・図示

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
「JIS A 6008」に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・
※横仕 表9.4.1から表9.4.3による

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシートの製造所の仕様

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を
積層加工したもの
・

接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う(・図示 ・)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種類S-F1、S1-F1の場合)
・行う(・図示 ・)

機械式固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

施工機識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に機識を取り付ける

防水層の種類 [9.5.3] [表9.5.1、2]

種 別	施工箇所	仕上塗料		保護層	備 考
		種 類	使用量		
・X－1		・主材料の製造 所の仕様 ・	・主材料の製造 所の仕様 ・		
・X－2		・主材料の製造 所の仕様 ・	・主材料の製造 所の仕様 ・		
・Y－1	・地下外壁防水				
・Y－2	・屋内防水				

高日射反射率防水の適用 ㊦ ・有 ※無

ウレタンゴム系塗膜防水X－1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様

ゴムアスファルト系塗膜防水Y－1、Y－2の工程数及び各工程の使用量
・
※主材料の製造所の仕様

施工機識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に機識を取り付ける

防水層の種類 [9.6.1、3、4] [表9.6.1、2]

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・C－SUI		・C－SUP	

防水層の下地
壁 (・ ※コンクリート打渡し仕上げ(表6.2.4 B種))
天井部 (・ ※コンクリート打渡し仕上げ(表6.2.4 B種))

下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
・図示 ・
・打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる、水洗い清掃後、防水剤製造所の指定する材料を
充填する

型枠締付け材にコーンが使用されている部位及び防水剤の塗布面以外の下地処理
・図示 ・
・

⑧ シーリング

[9.7.2、3、5] [表9.7.1]
ただし、外装壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合の
シーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
外部建具廻り	ポリサルファイド系 (PS-2)
内部建具廻り	変成シリコン系 (MS-2)

シーリング材の目地寸法
※横仕 9.7.3(1) (7)～(9)による
・図示 ・
・

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。
(シーリングを除く)

7 保証書及び期間

10
石工
工事

1 施工

2 石材等

3 外壁湿式工法

4 内壁空積工法

5 外壁乾式工法

6 床及び階段の石張り

石材の割付け ・図示 [10.1.3、5]
粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ
・図示 ・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ
・行う(適用場所 ・すべて ・) ・行わない

[10.2.1、3] [表10.2.1、2]

天然石

施工箇所	岩石の種類	等 級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
・床石		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	
		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	

ジェットバーナー仕上げの有無
・有 ・無

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面に よる区分	寸法 (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの 種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・300型 ・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する
充填材料等
※専門工事業者の指定する製品 ・

受金物 材質 ※SUS304 ・
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 ・ 寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製バイパス クロスメッシュ巻き 25～35φ ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋流し工法
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
シーリング材 目地幅 ・横仕(表9.7.1)による
伸縮調整目地 位置 ※横仕 表11.1.1による ・図示
シーリング材 ・横仕(表9.7.1)による
目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示

[10.2.2、3] [10.3.2、3]

[10.2.2] [10.4.2、3]

[10.2.2] [10.5.2、3] [表10.2.4]

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準表10.2.1による
(右式 ・スライド方式 ・ロッキング方式)
(・図示による)
アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス (SUS304) M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 () 種類: 材質: 寸法: ・
だば用の穴の位置 ※横仕 10.5.2(2)(7)による ・図示
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地 目地幅及び深さ(mm) ※8以上 ・
シーリング材
※横仕(表9.7)による ・図示

[10.6.2、3]

床石張りの浸透性給水防止剤 ・適用する ・適用しない
床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・
・屋外 4以上 ・屋内 3～6
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30m2程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と
取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示

7 笠木、甲板等の石張り

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
石材の厚さ ・ mm
特殊部位用金物 ※横仕 10.2.2(3) ・
材質 ※ステンレス (SUS304)
寸法 引金物 ・
だば ・
かすがい ・
受金物 ・
乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー ・図示 ・横仕(表10.2.4)に準ずる
(方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式)
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

位置 ※横仕 表11.1.1による ・図示 [11.1.3] [表11.1.1]
目地寸法 ※横仕 表9.7.3による ・図示

タイルの形状、寸法等 [11.2.2、3、6]

施工箇所	種類	形状/ 寸法 (mm)	吸水率による区分 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	うわぐすり 施す 施す 施す	役物 有 無	色 標準 特注	再生 材料の 適用 ㊦	耐凍害性 有 無	耐滑 り性	備考

標準的な曲がりの役物是一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目貫し工法(高圧水洗処理) ・MCR工法
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良接着張り
外装タイル ※密着張り ・改良接着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を
予め工場において所定の割合に配合した材料とする
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

タイルの形状、寸法等 [11.3.2～4、7]

施工箇所	種類	形状/ 寸法 (mm)	吸水率による区分 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	うわぐすり 施す 施す 施す	役物 有 無	色 標準 特注	再生 材料の 適用 ㊦	耐凍害性 有 無	耐滑 り性	備考

標準的な曲がりの役物是一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目貫し工法(高圧水洗処理) ・

※磁器製 ()
・ ()

鹿児島県建築工事特記仕様書

⑫木工工事

②表面仕上げ

③製材

④造作用集成材

⑤造作用単板積層材

精造材については、「認証かごしま材」を優先して使用することし、次に示す部位の木材は、「認証かごしま材」を使用すること。（造作材、木製間仕切り、腰壁）

[12.1.4] [表12.1.1.2]

表面仕上げの種類		適用箇所	
機械加工	・A種		
	※B種		
	・C種		
手加工	・H-A種		
	・H-B種		
	・H-C種		

[12.2.1] [12.4.1] [12.5.1] [12.6.1] [12.7.1]
・「JAS 1083-5」製材・第5部に基づく

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			※2級	・	※A種・B種	・		・
			※2級	・	※A種・B種	・		・

・「JAS 1083-2」製材・第2部に基づく

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
見え掛り面			・小節	・	※A種・B種	・		・
見え掛り面以外			※小節以上	・	※A種・B種	・		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			※1級	・	※10%以下			・
			※1級	・	・A種・B種	・		・
			※1級	・				・

・「JAS 1083(製材)」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			()	・適用する	※A種・B種	・
			造作材の場合	・適用しない	・	
			(※A種・B種)			

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等・2等	・
				※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等・2等	・
					※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	間伐材等の適用
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・
				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造成用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

ホルムアルデヒド放射量
・「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級)	・適用する ・適用しない	・

○「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧施工	防虫処理	含水量	間伐材等の適用
		○有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	・適用する ○適用しない	※14%以下	・

・「JAS 3079」に基づくCLT（直交集成板）

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・

⑬木工工事（続き）

⑦接着剤

⑧防腐・防蟻

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着力の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5	・ラワン ・しな	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着力の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※12	※2級以上	・1級	※1類 ・特類	※C-D以上	・適用する ・適用しない	()	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着力の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着力の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する() ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着力の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する() ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※15	※2級以上	※13タイプ	※P又はM	

・「JAS 0306」に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等 級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・MDF

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
・防腐、防蟻

⑬左官工事

①モルタル塗り

モルタル・現場調査材料・既調合材料（材料：）[15.3.2、5]
既製目地材・設ける 施工箇所（）形状（※図示・）
・設けない
床の目地・設ける（目地割り ※2m程度（最大目地間隔3m程度）・）（種類 ※押し目地・）
・設けない
外装壁・タイル張り・下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
※適用する・適用しない
・防水剤（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

2ラス系下地

ラス系下地[15.2.4]
・通気構造単層下地
換気口部の措置・公共木造建築標準仕（11.4.3）（2）（イ）
・通気構造二層下地
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地
耐力壁、耐火構造、準防火構造等の指定（）
ラスの材料種類（）
材料の記号及び単位面積あたりの質量（）
ラスシートの材料ラス目による区分（・M・）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分（・L・S・4（建築基準法に基づく耐力壁）・）
ステープルの形状及び寸法（）
直張りラスシートモルタル下地で建築法に基づく耐力壁のラスシートの施工（）
せっこうボード[15.2.5]

3セルフレベリング材塗り

・せっこう系・セメント系[15.5.2][表15.5.1]

④仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量※規制対象外・
仕上塗材の種類※準付け仕上塗材

種類	仕上りの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・EP	・平たん状	・B-7塗り	・適用する	・
・EP-G	・平たん状	・B-7塗り	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

種類	仕上りの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・	・	・	・適用する	・適用する	・
・	・	・	・適用する	・適用する	・

・複層仕上塗材

種類	仕上りの形状	工法	上塗りの種類	耐候性	防火材料
・	・	・	溶媒 ※水系 ※耐候性 3種 樹脂 ※79系 外観 ※つやあり	・	・
・	・	・	・	・	・

・経量骨材仕上塗材

呼び名			防火材料
・			・
・			・

5ALCパネルのケースの下地処理

内装目地部の形状 ※V形目地付き・[15.6.4]

6マステック塗料塗り

種類・A種・B種（仕上材塗り：EP-G ※B種・A種）[15.7.2]

7せっこうプラスター塗り

下塗り・既調合プラスター（下塗り用）・現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り・既調合プラスター（上塗り用）・しっくい塗り

8ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・
仕上げ吹付け厚さ（mm）※図示・25・
色彩・着色 ※原色

9しっくい塗り

しっくい・現場調査材料 ※標準仕 15.10.2（1）（イ）による
・既調合材料製造所（）種類（）
下地 ※木ずり、こまじ土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード・
・モルタル塗り
・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに塗り付ける場合
調査及び塗厚・木ずり下地の場合 ※標準仕 表15.10.3
・こまじ下地の場合 ※標準仕 表15.10.4

10こまじ壁塗り

のり・土壁用ののり・ふのり ※つものまた・ぎんなんそう・粉末海藻・
・砂壁用ののり ※ふのり・つものまた・こんにゃくのり・にかわ・
合成高分子系凝和剤・
色土・土物仕上げに用いる土色の種類（）
・大津仕上げに用いる土壁の種類（）
色砂の種類・天然砂と岩石の砂砂
・人工的に着色・製造したもの
調査下塗りの場合 ※標準仕 表15.11.2・
塗厚 ※標準仕 表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁のある場合（）
工程 ※A種・B種
・土物仕上げ種類・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法・水ごね土物2工法・のりさし土物工法・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ種類・普通大津仕上げ工法・大津みがき仕上げ工法

⑭建具工事

1防火戸

※建具表による・[16.1.3]
・適用する（※建具表による・）[16.1.6]
※適用しない

③アルミニウム製建具

性能等級[16.2.1、2、4、5][表14.2.1]
外部に面する建具・A種（建具符号・建具表による・）
※B種（建具符号・建具表による・）
・C種（建具符号・建具表による・）
・D種（建具符号・建具表による・）
・E種（建具符号・建具表による・）
防音ドアセット、防音サッシ・遮音性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
断熱ドアセット、断熱サッシ※断熱性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
枠の見込み寸法・建具表による・
表面処理の種類外部に面する建具・A-1種・A-2種 ※B-1種・B-2種・
皮膜等の種類（※標準仕 表14.2.1による）
屋内の建具※C-1種・C-2種・
皮膜等の種類（※標準仕 表14.2.1による）
結露水の処理方法 ※図示・
水切り板、ぜん板 ※建具表による・図示

4網戸等

性能等級[16.2.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上・	※16～18メッシュ・
・防鳥網	・ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

5樹脂製建具

性能等級[16.2.2、5][16.3.2～5][表16.3.1～4]
外部に面する建具・A種（建具符号：・建具表による・）
・B種（建具符号：・建具表による・）
・C種（建具符号：・建具表による・）
・D種（建具符号：・建具表による・）
・E種（建具符号：・建具表による・）
防音ドアセット、防音サッシ・遮音性の等級（・T-1・T-2）
（建具符号：・建具表による・）
断熱ドアセット、断熱サッシ※断熱性の等級（・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8・）
（建具符号：・建具表による・）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級（・）
枠の見込み寸法・建具表による・
表面色 ※標準色・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示・

6鋼製建具

性能等級[16.2.2][16.4.2～4][表16.4.2]
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：・建具表による・）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性・耐風圧性の等級（・）
防音ドアセット、防音サッシ・遮音性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
断熱ドアセット、断熱サッシ※断熱性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
耐震性能・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料 ステンレス鋼板（・SUS304、SUS340J1L又はSUS443J1・）
ステンレス製くつずりの仕上げ・HL・
形状および仕上げ鋼板類の厚さ・標準仕様書（表16.4.2）による・
使用箇所（）

7鋼製軽量建具

性能等級[16.2.2][16.5.2～4]
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：・建具表による・）
・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ・遮音性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
断熱ドアセット、断熱サッシ※断熱性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
耐震性能・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
鋼板 ※垂鉛めっき鋼板・ビニル被膜鋼板・カラー鋼板・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ・標準仕 表16.5.1による・使用箇所（）
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板・鋼板
形状および仕上げ鋼板類の厚さ・標準仕様書（表16.5.1）による・
使用箇所（）

8ステンレス製建具

性能等級[16.2.2][16.4.2][16.6.2～5]
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：・建具表による・）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性・耐風圧性の等級（・）
防音ドアセット、防音サッシ・遮音性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
断熱ドアセット、断熱サッシ※断熱性の等級（・建具表による・）
（建具符号：・建具表による・）
耐震性能・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板 ※SUS304・SUS430J1L・SUS443J1・
表面仕上げ ※HL・鏡面仕上げ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ

⑮建具工事

9木製建具

建具材の加工、組立時の含水率・A種 ※B種・[16.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外・F☆☆☆☆・
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
※普通適合板※	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※79の程度・） 不透明塗料塗り（※しな程度・） 板面の品質（※広葉樹1等・） 接着の程度（・1類・2類）	
・天然木化粧合板※	樹種名（） 接着の程度（・1類・2類）	
・特殊加工化粧合板※	化粧加工の方法 （・B・12154化粧合板・アルト・551化粧合板） 表面性能（）タイプ 接着の程度（・1類・2類）	

表面材の厚さ ※標準仕 表16.7.6による・
・かまち戸
かまち樹種（）鋸板樹種（）
見込み寸法 ※36mm・建具表による・
・ふすま
張りの種類（・I型・II型）
上張り（押入等の裏側以外）・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ・塗り縁 ※生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm・建具表による・
・戸ふすま
見込み寸法 ※30mm・建具表による・
見込み寸法 ※30mm・建具表による・
枠、くつずりの材料・建具表による・

⑩建具用金具

①マスターキー ※製作する（※新規・既存にあわせる）[16.8.2～4][表16.8.1]
※シリンダー箱錠
※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金・ステンレス・貴銅
座金 ※丸座・長座
・握り玉 材質 ※ステンレス
・本締まり錠（性能）
建築材料等品質性能表による
・空錠
※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金・ステンレス・貴銅
座金 ※丸座・長座
・握り玉 材質 ※ステンレス
・グレモン錠
レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金・ステンレス
製造所 ※図示
・ピボットヒンジ
カバ一部材の材質 ※ステンレス・亜鉛合金
・フロアヒンジ
・Grade1 ※Grade2
カバ一部材の材質 ※ステンレス
・ヒンジクローザー（丁寧型）
材質・鋼（焼付け塗装）
・ヒンジクローザー（ピボット型）
材質・鋼（焼付け塗装）
・ドアクローザー
・Grade1 ※Grade2
材質 ※アルミニウム合金
・押棒、押板
材質・ステンレス・貴銅・合成樹脂
・アームストッパー
材質・鋼（クロームめっき） ※ステンレス
・クレセント
材質 ※建具製造所の仕様による
・排煙オペレーター（※埋込・露出）

11鍵

・マスターキー 製作する（・新規・既存にあわせる）[16.8.4]
鍵の製作本数・各室3本一組（室名札付き）・
鍵箱・無し
・有り 鋼板の市販品として監督員の承諾による
形式・30本入り（）個・60本入り（）個
・120本入り（）個・（）本入り（）個

12自動ドア開閉装置

性能等級[16.9.2、3]

自動ドア	種類	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・引き戸	・SSLD-1 ※標準仕 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	表16.9.1による	・適用する ・適用しない	・マトリックススイッチ ※光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ	・適用する ・適用しない
・多目的トイレ 出入口引き戸		※標準仕 表16.9.2による			
・	・図示	・			

駆動力 ※電気式又は電動油圧式・（）
電源 ※単相100V（過電流保護装置付）・（）
補助センサー ※安全光線スイッチ1組・（）
各開閉装置毎に補助センサを設ける
引き戸用検出装置の種類・標準仕 表16.9.4による・建具表による・
タッチスイッチの種類・無線式タッチスイッチ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類・大型押しボタンスイッチ・非接触スイッチ

13自閉式上吊り引戸装置

性能 ※標準仕 表16.10.1による・[16.10.3]

⑯建具工事

14重量シャッター

シャッターの種類耐風圧強度備考
・管理用シャッター耐風圧強度（）pa※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（）pa
・屋内用防火シャッター
・防護シャッター
閉鎖機能による種類 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式
リモコンの有無 ※無・有（リモコン個数 個）
電動式の場合の電源 ※三相200V 0.75kw以下（過電流保護装置付）
管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12・
ガイドレール、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板のカバー、雨掛かりに用いる
スイッチボックス類のふたの材質・ステンレス鋼板（SUS304）・
開閉方式による種類 ※手動式・上部電動式（手動併用）[16.12.2～4]
シャッターケース ※設ける・設けない
耐風圧強度（）Pa
スラットの材質
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量（※Z06又はF06・）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量（※AZ90・）
スラットの形状 ※インターロックンギ形・オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス（SUS304）・溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の障害防止機構 ※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源 ※単相100V（過電流保護装置付）・（）

15軽量シャッター

シャッターの種類耐風圧強度備考
・管理用シャッター耐風圧強度（）pa※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（）pa
・屋内用防火シャッター
・防護シャッター
閉鎖機能による種類 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式
リモコンの有無 ※無・有（リモコン個数 個）
電動式の場合の電源 ※三相200V 0.75kw以下（過電流保護装置付）
管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12・
ガイドレール、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板のカバー、雨掛かりに用いる
スイッチボックス類のふたの材質・ステンレス鋼板（SUS304）
開閉方式による種類 ※手動式・上部電動式（手動併用）[16.12.2～4]
シャッターケース ※設ける・設けない
耐風圧強度（）Pa
スラットの材質
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量（※Z06又はF06・）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量（※AZ90・）
スラットの形状 ※インターロックンギ形・オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス（SUS304）・溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の障害防止機構 ※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源 ※単相100V（過電流保護装置付）・（）

16オーバーヘッドドア

セクション材料による区分耐風圧区分開閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材質
※スチールタイプ・125 ※バラン式・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ・100・チェーン式・ローヘッド形・ステンレス鋼板
・ファイバークラスタイプ・75・電動式・ハイルフト形
・50・バーチカル形
障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置場所・図示・

17ガラス

フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
・建具表による・
型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による・
網入りガラス及び網入り板ガラスの網又は網の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による・
合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
形状による種類
・平面合わせガラス・曲面合わせガラス
落着衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・I類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類
強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・I類・Ⅲ類
熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による・
性能による種類
・1種・2種
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による・
断熱性による区分
・T1・T2・T3・T4・T5・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G・S
乾燥気体の種類
・空気・アルゴン・
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による・
日射熱遮蔽性による区分
・1種・2種・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A種・B種
映像調整
・行わない・行う
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による・
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	・シーリング材（SR-1） ・ガasket ・グレイジングチャンネル形・	・建具の製造所の仕様による ・図示・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材（SR-1） ・	・建具の製造所の仕様による ・図示・
ステンレス製	・シーリング材（SR-1） ・	・建具の製造所の仕様による ・図示・
アルミニウム製	・シーリング材（SR-1） ・ガasket ・グレイジングチャンネル形・	・建具の製造所の仕様による ・図示・

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
右に示す製造商の商品程度とする（）
品質は JIS A 5759Iによる

鹿児島県建築工事特記仕様書

設計者

佐藤設計椿山事務所
鹿児島県知事登録 第 1-5-6 号
1級建築士登録 第 177419 号 C D 椿山 政彦

鹿児島県 いちき串木野市役所
都市建設課 建築係 主任 梶 好輝
TEL 0996-21-5154 FAX 0996-21-5192

設計年月日 令和 7 年 4 月 1 日
工事名称 消防本部消毒室新築工事
図面名称 建築工事特記仕様書（その6）

図面番号 7 / 22

②① ユニット及びその他工事 （続き）	1 フリーアクセスフロア	[20. 2. 2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>所定荷重 (N)</th><th>表面仕上材</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>※450角以上 600角以下 ・</td><td>※100 ・120</td><td>※3000 ・5000</td><td>・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>※450角以上 600角以下 ・</td><td>※100 ・120</td><td>※3000 ・5000</td><td>・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>※450角以上 600角以下 ・</td><td>※100 ・120</td><td>※3000 ・5000</td><td>・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・</td><td></td></tr></table> 適用地震時水平力1階及び地階 ※0. 66以上 中間階（ ～ 階） ※0. 66以上 最上階（ 階） ※1. 06以下 帯電防止床タイル・置敷タイプ ・パネル一体タイプ （パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする） 寸法精度 ※標仕 20. 2. 2 (2) (a) ～ (c) による ・ パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0. 1%以内 500以下の場合 ±0. 5mm以内 パネルの平面形状（角度） ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0. 1%以内 500以下の場合 ±0. 5mm以内 フリーアクセスフロアの高さ ※±0. 5mm以内 （性能・試験方法） ローリングロード性能 ・適用する 適用室 （ ） ※適用しない ローリングロード試験 所定荷重1, 000 N（5, 000 Nの積載荷重は1, 000 N以上（任意））による繰り返し試験後、 残変形3. 0mm以下であること （パネル面に目視による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、使用上有害なものがたつが ないこと） ・2重床用複合アウトレット用開口 適用室 （ ） 開口の数 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所 コンセント（電源）：2P15A接地極付×2 情報用モジュラージャック（電話）：8極8芯×1の入った アウトレットが納まる大きさ 取付方法 フリーアクセスフロア製造所の仕様とする	施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上材	備 考		※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・			※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・			※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・		2 可動間仕切	[20. 2. 3] <table><tr><th>構造形式による種類</th><th>構造基材の種類</th><th>パネル表面材</th><th>遮音性 (dB/500Hz)</th><th>防火性能</th></tr><tr><td>・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式</td><td>スタッド</td><td>パネル ※メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td><td>・36未満 ・36以上</td><td>・不燃</td></tr></table> パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標仕 19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上 ガラス留め材 ※ガスケット ・シーリング	構造形式による種類	構造基材の種類	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式	スタッド	パネル ※メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃	3 移動間仕切	[20. 2. 4] <table><tr><th>構造形式</th><th>操作方法による種類</th><th>パネル仕掛装置 の操作方法</th><th>総厚さ (mm)</th><th>パネル表面材 材質</th><th>仕上</th><th>遮音性 (dB/500Hz)</th></tr><tr><td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td><td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td><td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td><td>※60程度 ・100程度</td><td>・鋼板 ・</td><td>※焼付塗装 ・壁紙張り ・</td><td>・36未満 ・36以上</td></tr></table> パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標仕 19章による ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・図示 ・ 移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する（製造所の仕様による） ・ ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して耐力及び変形量が 使用上支障のないもの	構造形式	操作方法による種類	パネル仕掛装置 の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	仕上	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	・鋼板 ・	※焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上	4 トイレブース	[20. 2. 5] <table><tr><th>表面材の材料</th><th>色柄</th><th>脚部 形状</th><th>ドアエッジ 形状</th><th>材質</th></tr><tr><td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>※無地 ・柄物</td><td>※幅木タイプ ・</td><td>※標準 ・R</td><td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td></tr></table> 吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 ・（ ） パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上	表面材の材料	色柄	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	5 視覚障害者用 床タイル	[11. 2. 2] [19. 2. 2] <table><tr><th>施工箇所</th><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="3">屋内</td><td>・塩化ビニル製</td><td>※300×300</td><td>・7. 0</td></tr><tr><td>・セラミックタイル ㊥</td><td>※300×300</td><td>※17程度</td></tr><tr><td>・レジンコンクリート製</td><td>※300×300</td><td>・30</td></tr><tr><td rowspan="3">屋外</td><td>・セラミックタイル ㊥</td><td>※300×300</td><td>※17程度</td></tr><tr><td>・レジンコンクリート製</td><td>※300×300</td><td>・60</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による ・樹脂系点字版（タイルカーペット用） 寸法 ・300角 ※500角 色 ※黄色 ・ 樹脂系点字版の留付けは、両面からの挟込みホック式又は接着式	施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7. 0	・セラミックタイル ㊥	※300×300	※17程度	・レジンコンクリート製	※300×300	・30	屋外	・セラミックタイル ㊥	※300×300	※17程度	・レジンコンクリート製	※300×300	・60	・	・	・
	施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上材	備 考																																																																																						
		※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・																																																																																							
		※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・																																																																																							
		※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床材 ※付録A-ベクトル ・																																																																																							
	構造形式による種類	構造基材の種類	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																							
	・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式	スタッド	パネル ※メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃																																																																																							
	構造形式	操作方法による種類	パネル仕掛装置 の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	仕上	遮音性 (dB/500Hz)																																																																																					
	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	・鋼板 ・	※焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上																																																																																					
	表面材の材料	色柄	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質																																																																																							
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																								
施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																									
屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7. 0																																																																																									
	・セラミックタイル ㊥	※300×300	※17程度																																																																																									
	・レジンコンクリート製	※300×300	・30																																																																																									
屋外	・セラミックタイル ㊥	※300×300	※17程度																																																																																									
	・レジンコンクリート製	※300×300	・60																																																																																									
	・	・	・																																																																																									
②② ユニット及びその他工事 （続き）	6 階段滑り止め	[20. 2. 7] <table><tr><th>材 種</th><th>滑り止め材 形状</th><th>取付け工法</th><th>幅 (mm)</th><th>端部フラットエンド</th></tr><tr><td>※ステンレス製 (SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材</td><td>・ゴム又は ・タイヤ型合成樹脂 ・タイヤ ・レス型</td><td>※接着工法 ※埋込み工法</td><td>・35mm ・40mm ・50mm</td><td>※あり ・なし</td></tr></table> 床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる [20. 2. 8] ※ステンレス製 ㊦型 (幅40程度) ㊦1. 5) 標準詳細図 4-31-1 ・ステンレス製 6×12 標準詳細図 4-31-2 ・貴銅製 6×12 標準詳細図 4-31-2 ・集成材手すり [20. 2. 6]<table><tr><th>形 式</th><th>径</th><th>材 種</th><th>仕 上</th></tr><tr><td>・1段</td><td>・35φ</td><td>※タモ</td><td>※OL</td></tr><tr><td>※2段</td><td>※35φ</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・既製手すり（樹脂製）<table><tr><th>形 式</th><th>径</th><th>ブラケット</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・O型（1段）</td><td>※40φ</td><td>アルミ合金製</td><td>指づめ防止材共</td></tr><tr><td>※O型（2段）</td><td>※34φ</td><td>（心材共）</td><td></td></tr></table> 点字表示板（ ）箇所 JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による ※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度 ・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度	材 種	滑り止め材 形状	取付け工法	幅 (mm)	端部フラットエンド	※ステンレス製 (SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材	・ゴム又は ・タイヤ型合成樹脂 ・タイヤ ・レス型	※接着工法 ※埋込み工法	・35mm ・40mm ・50mm	※あり ・なし	形 式	径	材 種	仕 上	・1段	・35φ	※タモ	※OL	※2段	※35φ	・	・	形 式	径	ブラケット	備 考	・O型（1段）	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共	※O型（2段）	※34φ	（心材共）		7 床目地棒																																																							
	材 種	滑り止め材 形状	取付け工法	幅 (mm)	端部フラットエンド																																																																																							
	※ステンレス製 (SUS304) ・貴銅製押出形材 ・アルミニウム製押出形材	・ゴム又は ・タイヤ型合成樹脂 ・タイヤ ・レス型	※接着工法 ※埋込み工法	・35mm ・40mm ・50mm	※あり ・なし																																																																																							
	形 式	径	材 種	仕 上																																																																																								
	・1段	・35φ	※タモ	※OL																																																																																								
	※2段	※35φ	・	・																																																																																								
	形 式	径	ブラケット	備 考																																																																																								
	・O型（1段）	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共																																																																																								
	※O型（2段）	※34φ	（心材共）																																																																																									
	8 手すり																																																																																											
9 黒板及び ホワイトボード ㊧																																																																																												
10 鏡																																																																																												
11 煙突ライニング	・煙突用成形ライニング材 [20. 2. 13] 適用安全使用温度（上限温度） ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度（上限温度） ・キャスト耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする																																																																																											
12 ブラインド	[20. 2. 14] <table><tr><th>形 式</th><th>操作方法</th><th>種 類</th><th>スラットの材質</th><th>スラット幅 (mm)</th><th>ボックス・レールの 材質</th><th>巾・高さ 取付箇所</th></tr><tr><td>・横型</td><td>・手動 ・電動</td><td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td><td>※アルミニウム 合金製 ㊨</td><td>※25 ・</td><td>※鋼製 ・</td><td>・図示 ・</td></tr><tr><td>・縦型</td><td>・手動 ・電動</td><td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td><td>・アルミスラット ・クロススラット</td><td>・80 ・100</td><td>7×30×6合金製 ・</td><td>・図示 ・</td></tr></table> スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ㊩ とする。	形 式	操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの 材質	巾・高さ 取付箇所	・横型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製 ㊨	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7×30×6合金製 ・	・図示 ・																																																																						
形 式	操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの 材質	巾・高さ 取付箇所																																																																																						
・横型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製 ㊨	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・																																																																																						
・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7×30×6合金製 ・	・図示 ・																																																																																						
13 ロールスクリーン	[20. 2. 15] <table><tr><th>操作方法</th><th>巾・高さ</th><th>材 種</th><th>品質等</th></tr><tr><td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td><td>・図示 ・</td><td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td><td></td></tr></table> その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による ・	操作方法	巾・高さ	材 種	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・図示 ・	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製																																																																																				
操作方法	巾・高さ	材 種	品質等																																																																																									
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・図示 ・	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製																																																																																										
⑭ カーテン	[20. 2. 16] <table><tr><th>形 式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>商品名(程度)</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ</td><td></td><td>・図示 ・</td><td></td></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ</td><td></td><td>・図示 ・</td><td></td></tr></table> ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ㊩ とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・	形 式	開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・		・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・																																																																										
形 式	開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所	備考																																																																																							
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・																																																																																								
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・																																																																																								
⑮ カーテンレール	[20. 2. 16] <table><tr><th>材種による区分</th><td>※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製</td></tr><tr><td>強さによる区分</td><td>※10-0</td></tr><tr><td>仕上げ</td><td>※アルマイド</td></tr><tr><td>形状</td><td>※角形</td></tr></table>	材種による区分	※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製	強さによる区分	※10-0	仕上げ	※アルマイド	形状	※角形																																																																																			
材種による区分	※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製																																																																																											
強さによる区分	※10-0																																																																																											
仕上げ	※アルマイド																																																																																											
形状	※角形																																																																																											
16 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	[20. 2. 16] <table><tr><th>溝型×深さ (mm)</th><td>・90×150</td><td>・120×80</td><td>・120×150</td><td>・150×80</td><td>・図示</td></tr><tr><td>材質</td><td>・集成材（仕上： ） ・アルミニウム製 押出形材（市販品） ・鋼製（仕上： ）</td></tr></table>	溝型×深さ (mm)	・90×150	・120×80	・120×150	・150×80	・図示	材質	・集成材（仕上： ） ・アルミニウム製 押出形材（市販品） ・鋼製（仕上： ）																																																																																			
溝型×深さ (mm)	・90×150	・120×80	・120×150	・150×80	・図示																																																																																							
材質	・集成材（仕上： ） ・アルミニウム製 押出形材（市販品） ・鋼製（仕上： ）																																																																																											
17 コーナースピート （壁ボード出隅保護 金物）	[20. 2. 16] <table><tr><td>材質</td><td>※アルミニウム押出形材差込型 ・（ ） ※シルバー ・焼付 ・（ ）</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>※図示</td></tr></table>	材質	※アルミニウム押出形材差込型 ・（ ） ※シルバー ・焼付 ・（ ）	施工箇所	※図示																																																																																							
材質	※アルミニウム押出形材差込型 ・（ ） ※シルバー ・焼付 ・（ ）																																																																																											
施工箇所	※図示																																																																																											
⑯ 天井見切縁	[20. 2. 16] <table><tr><td>材質</td><td>※アルミニウム押出形材 ・塩化ビニル製</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>※仕上表による ・（ ）</td></tr></table>	材質	※アルミニウム押出形材 ・塩化ビニル製	施工箇所	※仕上表による ・（ ）																																																																																							
材質	※アルミニウム押出形材 ・塩化ビニル製																																																																																											
施工箇所	※仕上表による ・（ ）																																																																																											
19 ビクチャーレール	[20. 2. 16] <table><tr><td>材質</td><td>※アルミニウム押出形材 ※フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡</td></tr></table>	材質	※アルミニウム押出形材 ※フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡																																																																																									
材質	※アルミニウム押出形材 ※フック 耐荷重30kg程度 2個/㎡																																																																																											
②③ ユニット及びその他工事 （続き）	20 天井点検口																																																																																											
	21 床点検口																																																																																											
	22 造作家具																																																																																											
	23 消火器ボックス																																																																																											
	24 くつみきマット																																																																																											
	②⑤ ステンレス流し台	※優良住宅部品（セクショナルキッチン） ・（ ） 上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付 <table><tr><th>寸 法</th><th>開 戸</th><th>引き出し</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・W1200×D550～600×H800</td><td>※3枚 ・（ ）</td><td>※1段 ・（ ）</td><td rowspan="3">サイドパネル付</td></tr><tr><td>・W1500×D550～600×H800</td><td>※4枚 ・（ ）</td><td>※1段 ・（ ）</td></tr><tr><td>・W1800×D550～600×H800</td><td>※4枚 ・（ ）</td><td>※1段 ・（ ）</td></tr></table> ※優良住宅部品（セクショナルキッチン） ・（ ） テーブルトップはステンレス製、バックガード（※有り ・無し） <table><tr><th>寸 法</th><th>開 戸</th></tr><tr><td>・W700×D550～600×H620</td><td>※2枚 ・（ ）</td></tr><tr><td>・W600×D550～600×H620</td><td>※1枚又は2枚 ・（ ）</td></tr></table>	寸 法	開 戸	引き出し	備 考	・W1200×D550～600×H800	※3枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）	サイドパネル付	・W1500×D550～600×H800	※4枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）	・W1800×D550～600×H800	※4枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）	寸 法	開 戸	・W700×D550～600×H620	※2枚 ・（ ）	・W600×D550～600×H620	※1枚又は2枚 ・（ ）																																																																						
	寸 法	開 戸	引き出し	備 考																																																																																								
	・W1200×D550～600×H800	※3枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）	サイドパネル付																																																																																								
	・W1500×D550～600×H800	※4枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）																																																																																									
	・W1800×D550～600×H800	※4枚 ・（ ）	※1段 ・（ ）																																																																																									
寸 法	開 戸																																																																																											
・W700×D550～600×H620	※2枚 ・（ ）																																																																																											
・W600×D550～600×H620	※1枚又は2枚 ・（ ）																																																																																											
②⑥ コンロ台	※優良住宅部品（セクショナルキッチン） ・（ ） テーブルトップはステンレス製、バックガード（※有り ・無し） <table><tr><th>寸 法</th><th>開 戸</th></tr><tr><td>・W700×D550～600×H620</td><td>※2枚 ・（ ）</td></tr><tr><td>・W600×D550～600×H620</td><td>※1枚又は2枚 ・（ ）</td></tr></table>	寸 法	開 戸	・W700×D550～600×H620	※2枚 ・（ ）	・W600×D550～600×H620	※1枚又は2枚 ・（ ）																																																																																					
寸 法	開 戸																																																																																											
・W700×D550～600×H620	※2枚 ・（ ）																																																																																											
・W600×D550～600×H620	※1枚又は2枚 ・（ ）																																																																																											
27 旗竿	<table><tr><th>材 種</th><th>形 式</th><th>高さ (mm)</th><th>操作方法</th><th>固定方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>※アルミニウム合金製</td><td>・テーパー式 ・同一断面式</td><td></td><td>・ハンドル式 ・ロープ式</td><td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td><td></td></tr></table>	材 種	形 式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																
材 種	形 式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																							
※アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																								
28 旗竿受金物																																																																																												
29 車止め支柱																																																																																												
②⑯ ユニット及びその他工事 （続き）	30 フェンス																																																																																											
31 屋内掲示板	<table><tr><th>種 類</th><th>取付方法</th><th>寸 法</th><th>枠の材質</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ビニル ・ビニ、72°おけ併用</td><td>・メーカー仕様 ・</td><td>・900×1200 ・900×1800</td><td>・アルミ製 ・</td><td></td></tr></table>	種 類	取付方法	寸 法	枠の材質	備 考	・ビニル ・ビニ、72°おけ併用	・メーカー仕様 ・	・900×1200 ・900×1800	・アルミ製 ・																																																																																		
種 類	取付方法	寸 法	枠の材質	備 考																																																																																								
・ビニル ・ビニ、72°おけ併用	・メーカー仕様 ・	・900×1200 ・900×1800	・アルミ製 ・																																																																																									
32 敷地境界標	・コンクリートブロック製の市販品程度 ・金属製（真ちゅう製50角 アンカー共）																																																																																											
33 耐震スリット	<table><tr><th>方 向</th><th>タイプ</th><th>耐火性能</th><th>防水性能</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・垂直方向 ・水平方向</td><td>※完全（全貫通型）</td><td>・耐火型 ・非耐火型</td><td>・有り ・無し</td><td></td></tr></table> 目地 <table><tr><th>目 地</th><th>内 壁</th><th>外 壁</th></tr><tr><td>目地材</td><td>・シーリング材（見え掛かりのみ） ・</td><td>・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）</td></tr><tr><td>目地寸法 (幅m×深さm)</td><td>・20×10</td><td>・20×10</td></tr></table> 目地材の材質は標仕 表9. 7. 21による	方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	備 考	・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		目 地	内 壁	外 壁	目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）	目地寸法 (幅m×深さm)	・20×10	・20×10																																																																								
方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	備 考																																																																																								
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																									
目 地	内 壁	外 壁																																																																																										
目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）																																																																																										
目地寸法 (幅m×深さm)	・20×10	・20×10																																																																																										
34 打継止水材	[20. 2. 16] <table><tr><th>適用箇所</th><td>※E Vビット ・（ ）</td></tr><tr><td>材質</td><td>※水膨張性コンクリート打継止水材 寸法20×t10</td></tr></table>	適用箇所	※E Vビット ・（ ）	材質	※水膨張性コンクリート打継止水材 寸法20×t10																																																																																							
適用箇所	※E Vビット ・（ ）																																																																																											
材質	※水膨張性コンクリート打継止水材 寸法20×t10																																																																																											
35 エキスパンション ・ジョイント金物	<table><tr><th>材 種</th><th>クリアランス (mm)</th><th>耐火性能</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td><td>・50 ・100 ・150</td><td>・有り（ ） ・無し</td><td></td></tr></table> 外部は防水型とする	材 種	クリアランス (mm)	耐火性能	備 考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り（ ） ・無し																																																																																				
材 種	クリアランス (mm)	耐火性能	備 考																																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り（ ） ・無し																																																																																										
②⑰ ユニット及びその他工事 （続き）	36 プレキャスト コンクリート	[20. 3. 3、4] コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最少値300kg/㎡を満足する調査強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示 取付方法 ※図示																																																																																										
	37 間知石及びコン クリート間知ブロック 積み	[20. 4. 2、3] <table><tr><th>材 種</th><th>種 類</th><th>質量区分</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・間知石</td><td>・花こう岩 ・凝灰岩</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・コンクリート 間知ブロック</td><td>—</td><td>・A ・B</td><td></td></tr></table> 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 伸縮調整目地 材質 ・図示 厚さ ・図示 ・	材 種	種 類	質量区分	備 考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—		・コンクリート 間知ブロック	—	・A ・B																																																																															
	材 種	種 類	質量区分	備 考																																																																																								
	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—																																																																																									
	・コンクリート 間知ブロック	—	・A ・B																																																																																									
	38 マンホールふた（屋内）	公益社団法人空気調和・衛生工学会 SHASE-S209による 名称 ・簡易密閉型（ﾊﾞｯﾁ式） ・密閉型（ﾅｰﾊﾞｰﾊﾞｯﾁ式） ・密閉型（ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾊﾞｯﾁ式） 耐荷重 ・5KN（T-2） ・15KN（T-6） ・50KN（T-20） 寸法 ※内径650																																																																																										
	① 屋外雨水排水	[21. 2. 1、2] [表21. 2. 1、2] <table><tr><th>材 種</th><th>種類・記号</th><th>形 状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管（1種）</td><td>・B形管 ・</td><td>※図示 ・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・RS-VP ㊩</td><td></td><td>※図示</td><td>・</td></tr><tr><td>・RS-WU ㊩</td><td></td><td>※図示</td><td>・</td></tr><tr><td>※ VP</td><td></td><td>※図示</td><td>・</td></tr><tr><td>・VU</td><td></td><td>※図示</td><td>・</td></tr></table> 基礎の厚さ ・図示 ・ ・呼び径300以下は100mm、呼び径300を超える場合は150mm 基礎の種類 ・図示 ・砂地業 ※砂利地業 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ 側壁の形状及び寸法 ・図示 ・ 排水栓の種類 ・図示 ・ 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン ㊪ ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足金物 ※標仕 21. 2. 2 (6) (イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼材 ・合成樹脂被覆加工されたもの	材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（1種）	・B形管 ・	※図示 ・		・硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VP ㊩		※図示	・	・RS-WU ㊩		※図示	・	※ VP		※図示	・	・VU		※図示	・																																																															
	材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考																																																																																							
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（1種）	・B形管 ・	※図示 ・																																																																																								
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VP ㊩		※図示	・																																																																																							
・RS-WU ㊩			※図示	・																																																																																								
※ VP			※図示	・																																																																																								
・VU			※図示	・																																																																																								
2 鉄鉄製ふた	[21. 2. 1] 形状及び寸法等 ※図示 ・																																																																																											
3 グレーチング	[21. 2. 1] <table><tr><th>材 質</th><th>形 式</th><th>用 途</th><th>適用通重</th><th>400N・ビ ッ</th><th>垂鉛のつき （付着量）</th><th>上面形状</th></tr><tr><td>・鋼製</td><td>・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・</td><td>・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用</td><td>・歩行用 ・</td><td>・細目 ・</td><td>・ ・</td><td>・凸凹形 ・</td></tr><tr><td>・ステン製</td><td>・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・</td><td>・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用</td><td>・歩行用 ・</td><td>・細目 ・</td><td>・ ・</td><td>・凸凹形 ・</td></tr></table>	材 質	形 式	用 途	適用通重	400N・ビ ッ	垂鉛のつき （付着量）	上面形状	・鋼製	・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・	・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・	・細目 ・	・ ・	・凸凹形 ・	・ステン製	・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・	・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・	・細目 ・	・ ・	・凸凹形 ・																																																																						
材 質	形 式	用 途	適用通重	400N・ビ ッ	垂鉛のつき （付着量）	上面形状																																																																																						
・鋼製	・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・	・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・	・細目 ・	・ ・	・凸凹形 ・																																																																																						
・ステン製	・受枠付き、 ｶﾞﾀ固定 ・	・溝ふた （横断用） ・溝ふた （側溝用） ・溝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・	・細目 ・	・ ・	・凸凹形 ・																																																																																						
4 街きよ、緑石、側溝	[21. 3. 1、2] [表21. 3. 1] 種類、形状及び寸法等 ※図示 地業の材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン ㊪ ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ ※100（mm） ・図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2																																																																																											
⑤ 埋戻し土	[21. 2. 1] 表3. 2. 1「埋戻し及び盛土の種類」による ※B種 ・																																																																																											
① 路床	[22. 2. 2、3、5] [表22. 2. 1] 路床土 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊫ 路床の構成及び仕上り ※図示 路床安定処理の方法 路床安定化処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ㊬ ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号） 添加量 ・ kg/㎡ （目標C B R ・3以上 ） 試験 路床土の支持力比（C B R）試験 ・行う ・行わない 路床断面の度の試験 ・行う ・行わない 現場C B R試験 ・行う ・行わない																																																																																											
設計年月日	令和 7 年 4 月 1 日																																																																																											
工事名称	消防本部消毒室新築工事																																																																																											
図面名称	建築工事特記仕様書（その8）																																																																																											
図面番号	9 / 22																																																																																											

鹿児島県建築工事特記仕様書

設計者 佐藤設計椿山事務所
鹿児島県知事登録 第 1-5-6 号
1級建築士登録 第 177419 号 C D 椿山 政彦

鹿児島県 いちき串木野市役所
都市建設課 建築係 主任 梶 好輝
TEL 0996-21-5154 FAX 0996-21-5192

舗装工事(続き)

②

路盤

路盤の構成及び厚さ

・図示

[22. 2. 2、3、5] [表22. 3. 1]

路盤材料の種類

・砕石
・クラッシャーラン C-40
・粒度調整砕石

※再生材

※クラッシャーラン RC-40
・粒度調整砕石

・クラッシャーラン鉄鋼スラグ

CS-40

・粒度調整鉄鋼スラグ

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③

アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※図示

[22. 4. 2～6] [表22. 4. 4]

材料及び種類

アスファルト
骨材

※再生アスファルト
・道路用砕石
※アスファルトコンクリート再生骨材

(・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物等の種類

※密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)

シーリングの施工

・行う

・行わない

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・行う

・行わない

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

④

コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ

[22. 5. 2～4、6] [表22. 5. 1、3]

舗装の種類

部 位

構 成

厚 さ (mm)

コンクリート舗装

歩行者用通路

・図示

・図示

・150
・70

材料

コンクリート
コンクリートの種類
設計基準強度
所定のスランプ
粗骨材の最大寸法
※普通コンクリート、標仕 表22. 5. 1による
早強ポルトランドセメント
注入目地材料

・
・
・
※8
・
・
・使用しない
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ

目地

種類
間隔
構造
※標仕 表22. 5. 3及び図22. 5. 1による

・
m程度ごと
・図示

溶接金網

※使用する

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・行う

・行わない

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5

透水性
アスファルト舗装

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ

※図示

[22. 7. 2、3、6]

材料

骨材

※道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材

(表22. 4. 1)

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
砂の粒度試験

※行う
・行う

・行わない

舗装の平坦性

※著しい不陸がないもの

6

ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装

[22. 8. 2、3]

種 類

寸法 (mm)

厚さ (mm)

目地材

備 考

※普通平板 (N)
・透水平板 (P)
・保水性平板 (M)

※300角
・

※60
・

※砂
・モルタル

表面加工
・研ぎ出し
・洗い出し
・たたき出し

クッション材

※砂
・空練りモルタル

普通平板は

(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は

(透水性コンクリート)とする。

ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。

・インターロッキングブロック舗装

[22. 8. 2、3]

種 類

厚 さ (mm)

形状寸法

曲げ強度 (N/mm²)

備 考

※普通ブロック (N)
・透水性ブロック (P)
・保水性ブロック (M)

車路
※80
・

・図示
・

※5. 0
・

表面加工
・
・

※普通ブロック (N)
・透水性ブロック (P)
・保水性ブロック (M)

歩行者用通路
※60
・

・図示
・

※3. 0
・

張り方
※ヘリンボンボンド
・ストレッチャーボンド
・図示

クッション材

※砂
・空練りモルタル

歩行者用通路に使用するブロックは

(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは

(透水性コンクリート)とする。

ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
仕上り面の平坦性 ※歩行の支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする

7

砂利敷き

種別

[22. 9. 2]

・A種 (施工範囲： ・道路
・B種 (施工範囲： ・図示
・建物周囲その他

・
・

8

路面標示用塗料

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種 類

施 工

適 用

色

幅 (mm)

塗布厚さ (mm)

・1種
・2種
※3種1号

常温
加熱
溶解

液状
粉体状

※白
・

・150
・100

・1. 5
・

※低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

9

車止め

車止め用既製コンクリート W200×L600×H20 小型反射板付き
全面接着アンカー併用固定 (影込み30mm埋込65mm以上)

23

植栽及び屋上緑化工事

植栽地の確認等

2

植栽基盤の整備

植木の水素イオン濃度指数 (pH) 試験
電気伝導度 (EC) の試験

・行う
・行う

・行わない
・行わない

[23. 1. 3]

植木の植栽基盤の整備

・適用する
・適用しない

[23. 2. 2、4]

植 栽

工 法

有効土層の厚さ (cm)

整備範囲

土壤改良材

・樹木

※ A種
・ B種
・ C種
・ D種
・

樹高12m以上
(※100 ・120 ・150)
樹高7m以上～12m未満
(※80 ・100)
樹高3m以上～7m未満
(※60 ・80)
樹高3m未満
(※50 ・60)

・葉張り部分
・植栽部分
※図示
・

・適用する
・適用しない

※芝、地被類

※B種
・

※20
・

※図示
・

・適用する
・適用しない

但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。

植栽基盤の排水設備

・設ける (※図示
・)

・設けない

3

植込み用土

※ 現場発生土の良質土
・客土

[23. 2. 3]

4

土壤改良材

土地改良材の適用
種別及び指定量等
・バグ堆肥

・適用する
・適用しない

[23. 2. 3]

使 用 量
有機物の含有率 (乾物)
炭素窒素比 (C/N比)
陽イオン交換容量 (乾物)
p H
水分
幼植物試験の結果
窒素全量 (現物)
りん酸全量 (現物)
加重全量 (現物)

: 植栽基盤面積 1 m²あたり (・50L
・)
: 70%以上
: 35以下
: 70meq/100g以上
: 5. 5～7. 5
: 55～65%
: 生育障害その他の異常が認められない
: 0. 5%以上
: 0. 2%以上
: 0. 1%以上

施工箇所の土壤及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

使 用 量 : 植栽基盤面積 1 m²あたり (・10L
・)
有機物の含有率 (乾物) : 35%以上
炭素窒素比 (C/N比) : 20以下
p H : 8. 5以下
水分 : 50%以下
窒素全量 (現物) : 0. 8%以上
りん酸全量 (現物) : 1. 0%以上
アルカリ分 (現物) : 15%以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない)

5

樹木

樹種、寸法、株立数等

※図示
・

[23. 3. 2]

6

支柱

支柱材
防腐処理方法
形式

※丸太 (間伐材)
※加圧式防腐処理丸太材
・図示
・

・真竹
・

[23. 3. 2、3]

7

幹巻き用材料

材料

※ 幹巻き用テープ
・ わら及びこも

[23. 3. 2]

8

芝

種類
芝張りの工法
平地
法面

※コウライシバ
・ノシバ
・
・
※目地張り
・目地張り

・べた張り
・洗い出し
※べた張り

[23. 4. 2、3]

9

収付けは種

種子の種類

発芽率

種子の量 (g/m²)

備 考

※洋芝類 (採取後2年以内)

※発芽率80%以上

・

⑩

地被類

植物の種類

径

単位面積当たりの株数

芽立数

・

・

23

植栽及び屋上緑化工事(続き)

11

樹木札

支柱材
幹巻き用材料
樹木札

※加圧式防腐処理丸太材
※幹巻き用テープ
※下記図による

・真竹
・わら及びこも
・監督職員の承諾による (文字は黒ペンキ書きとする)

[23. 3. 2]
[23. 3. 2]

樹木の枯補償

[23. 3. 4] [23. 3. 6]

その他特記